

事務事業評価シート(平成22年度)

(施設の維持管理)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		教育総務 課	原 寛	山下 新吾
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
那珂ふれあい館施設管理事業		新規 ○継続	年度 ○H20以前	年度 ○未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむあったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 生涯学習を推進する		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
多可町デジタルセンター条例		ソフト事業	○施設の維持管理	
事務事業の具体的内容		義務的事業	内部管理事務	
		建設・整備事業	計画などの策定	
施設を保全管理し、生涯学習の拠点としての役割を果たす。		補助金の支給	有○無	
		委託	○全部委託	一部委託
			委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
職員・住民	住民	・施設の安全の確保、館の維持管理 ・古墳群の保護と管理

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名	一般	会計
細目名	那珂ふれあい館運営事業	細目名		細目名		
予算 コード	款 10 項 5 目 4 大 1	予算 コード		予算 コード		

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度 決算	22年度 実績(見込)	23 年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総コスト		千円	4,679	4,587	4,594	
コスト の内訳	直接事業費		2,542	2,450	2,457	
	所属内間接費					
	人件費	2,137	2,137	2,137		
投入人員	正職員	人/年	0.26	0.26	0.26	
	嘱託員					
財源 内訳	国・県支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,679	4,587	4,594	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>						
事務事業を構成する業務	手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単 位	22年度 実績	23年度 見込	備 考
1 東山古墳群清掃管理 委託業務	東山村に委託	年間を通じゴミ拾い・ 清掃・草刈り	回	12/年	12/年	年額 30万円
2 那珂ふれあい館施設 管理委託業務	消防用設備保守点検業務	年2回点検業務	回	2/年	2/年	年額 31,500円
	自動扉保守点検業務	年4回点検業務 長期契約	回	4/年	4/年	年額 47,250円
	施設管理業務	開館日施設管理 シルバー人材センター	日	249	253	月額 13万円
	トイレ解放管理業務	休館日(月・火曜日・祝日・第3 日曜)トイレ解放と清掃	日	116	113	年額 8万円
	セコム夜間警備業務	年間を通じ夜間及び休館日の 警備(長期契約)	年間	365日	365日	年額 192,648円
	館清掃業務	年2回コルク床ワックスかけ・ 窓清掃	回	2/年	2/年	年額 143,451円

(施設の維持管理(B面))

事務事業名 [ 那珂ふれあい館施設管理事業 ]

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [ 那珂ふれあい館施設管理事業 ]				
成果指標(意図の数値化)	単位	21年度実績	22年度実績(見込)	23年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)	
東山古墳群清掃管理委託業務	回	12/年	12/年	12/年	古墳群の保護と管理	
那珂ふれあい館施設管理委託業務	消防用設備保守点検業務	回	2 / 年	2 / 年	施設の安全の確保、館の維持管理	
	自動扉保守点検業務	回	4 / 年	4 / 年		
	施設管理業務	日	251	249		253
	トイレ解放管理業務	日	114	116		113
	セコム夜間警備業務	年間	365	365		366
	館清掃業務	回	2 / 年	2 / 年		2 / 年

7 事務事業の事後評価 <Check>		(施設の維持管理事業)			
チェック項目		該当項目に「○」			担当の把握している課題
必要性	需要への対応性	受益者(利用者)の割合は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	把握なし
		利用者・対象者数は	<input type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 減少	横ばい
妥当性	連携の可能性	他の施設と連携・統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
有効性	持続の可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	
		歳入確保を検討する余地は	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	
		環境に配慮されて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	
市場化の可能性		更なる委託化の余地あり	<input type="radio"/> 更なる委託化は不可能		
		指定管理者制度を検討する余地あり	<input type="radio"/> 指定管理者制度を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="radio"/> 1.改善の余地はない		2.改善の余地がややある	
		3.改善の余地が多い		4.抜本的な見直しが必要	

# 事務事業評価書

## 8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 那珂ふれあい館施設管理事業

職場からの意見(担当者)										
(課題の解決についての提案など) 合併前からの旧3町分の民俗資料・遺物等の一括保管施設の確保が懸案事項として残されている。保存しているすべての大切な文化財については、今後も館を維持管理活用しながら将来まで守っていかなければ										
担当課長評価										
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) ふれあい館については、来場者に気持ちよく使っていただけるよう問題意識を大切に管理を継続して行ってきたい。 東山古墳群は、古墳内部に入ってじっくり観察ができる近畿圏でも数少ない古墳であるため、観察時の安心と安全を保つため、日々の管理を確実に行っていきたい。										
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討		
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了		内部評価	3	
教育長評価										
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 民俗資料の保管用施設及び展示場について、今後の具体的な方針を協議していく。										
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討		
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了				
評価委員コメント										
この方向で一步でも前へ進めてほしい。										